



Title	大阪大学 日本学報 第34号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	日本学報. 2015, 34
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/51386">https://hdl.handle.net/11094/51386</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学

## 日本学報

34

March, 2015

## 【特集：視覚文化と〈日本〉】

趣旨説明	北原 惠 ( 1 )
誰と共に生きるか?—生き延びるための表現—	高嶺 格 ( 3 )
郷愁と発見—日本近代の無気味な他者—	佐藤 守 弘 ( 13 )
コメント1：半田知雄の移民絵画—記録と郷愁の狭間—	ソアレス モッタ フェリッペ アウグスト ( 29 )
コメント2：空間理論をめぐる一考察—公共空間におけるジェントリフィケーションから—	鹿野 由 行 ( 39 )
討論	( 45 )
討論を終えて	鹿野由行・中西美穂・中山良子 ( 57 )

## 【論説】

1950～60年代の障害者コロニーにおける「ものづくり」と空間の構築—「あざみ織」の事例を中心に—	飯 守 桂 一 ( 61 )
ゲイバーは不要なのか?—「若専」ゲイバーにおける新たな戦略—	鹿 野 由 行 ( 81 )

## 【研究ノート】

地平／生活／アポリア—中国における日本サブカルチャー翻訳をめぐる—	湯 天 軼 ( 97 )
-----------------------------------	--------------

## 【卒業論文】

舞台上に降り立つVOCALOID—「女優」としての初音ミクは存在しうるか—	川 崎 悠 圭 ( 109 )
戦後日本における庶民の文章運動—『葦』『ふだんぎ』『孫たちへの証言』を通して—	山 下 壮 真 ( 135 )
うつ病にまつわる〈ままならなさ〉を「書く」ということ—「闘病記」をめぐる近年の動向を問い直す視座から—	吉 田 幸 代 ( 157 )

## 【書評】

書評：「ポピュラー文化／ミュージアム」への想像力：丸山泰明『渋沢敬三と今和次郎 博物館的想像力の近代』の実践力	伊 藤 遊 ( 179 )
書評：松田京子『帝国の思考—日本「帝国」と台湾原住民』	許 時 嘉 ( 185 )
書評：安井真奈美編『出産の民俗学・文化人類学』	畑 中 小百合 ( 193 )
書評：西松安野友好基金運営委員会編『西松安野友好基金和解事業報告書』	内 海 愛 子 ( 201 )

## 【対話と方法】

授業実践と海外研修の記録 「日本学演習」授業実践の記録—英語でのアカデミック・スキルの習得を目的とする授業を担当して—	辛 島 理 人 ( 211 )
Australia-Japan Graduate Conference 2014 参加記	黛友明、ファクンド・ガラシーノ、鳥居大嗣 ( 215 )
日本学学生「戦後日本と韓国における労働の記憶、闘争の記録」報告	徐 潤 雅 ( 221 )